

大鹿村中央構造線博物館たより94号



2017年3月発行

TEL/FAX:(0265)39-2205 E-MAIL:mtl-muse@osk.janis.or.jp

<<< 博物館イベント案内 >>>

講演会「ジオパークってなんだろう？」

講師：藤井利衣子さん(南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク専門員)

●日時：2017年3月25日(土) 14時～16時

●場所：大鹿村交流センター 大広間

●参加無料、申込不要

南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークは、大鹿村全域と富士見町、伊那市、飯田市の一部の地域からなります。ジオパークってなんだろう？どんな取り組みがされているのかな？といったことをお話いただきます。

大鹿から新たに4人がジオパークガイドに！

南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークでは、6年ほど前からジオパークガイド養成講座が開講されています。今年度は大鹿から私も含めて4人が受講し、全員無事ガイド認定されました。養成講座というと難しい講義を聞くというイメージですが、この講座では、実際に現地を見て回ることが重視されており、南アルプス林道と長谷、大鹿、遠山のジオサイト巡り、高遠少年自然の家周辺での鉱物標本作りなど、全7回のうち4回が現地研修でした(写真1～3)。



写真1 守屋山麓で化石標本探し



写真2 南アルプス林道の幕岩(石灰岩)



写真3 西暦714年に枯死した埋没ヒノキ展示



写真4 大鹿ジオツアー模擬ガイド発表の様子

2月14日の講座最終回では一般受講生8名、高遠高校生12名がそれぞれ4人1組になって、^{もぎ}模擬ガイド発表をしました(写真4)。私のグループは富士見市、伊那市、宮田村、大鹿村在住の4人で遠山(飯田市)のジオツアーの模擬ガイド発表をしました。もう一つのグループは大鹿のジオツアーの発表でしたので、大鹿村のことを受講者の方々に知っていただく良い機会になりました。高校生のグループは実際に石を持参していたり、動画を撮ったりと、工夫が凝らされていました。

ジオパークガイド養成講座は時間が限られていることもあり、ガイド認定されたからといって、すぐにガイドとしてバリバリ活躍できるレベルになれるわけではありませんが、講座をきっかけにもっといろいろ知りたいなど感じる内容になっています。また、現地研修では、地元や隣の村にこんなところがあったのかと毎回新たな発見があります。来年度も開催予定のようですので、興味のある方は是非受講してみてください。(宮崎)